

市民ホール基本設計の説明質疑応答要旨

日 時：平成30年7月14日（土）10時00分から12時00分まで

場 所：小田原市民会館 小ホール（基本設計の説明及び質疑応答）

参加者：36名

質疑応答（発言要旨）

質疑	回答
<p>【市民1】 小ホールの舞台の構造についてもう少し詳しく説明してほしい。舞台が昇降するのか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 舞台と客席レベルは同じ高さ。客席の舞台よりの一部が掘り込み床となっており、平土間として使う場合は、そこにパネルをはめて掘り込みを埋める。</p>
<p>【市民2】 舞台の床の仕上げと、客席の床の仕上げは違うと思うが、そこに境目が出来てしまうという事か。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 仕上げ材の詳細については検討中であるが、舞台用のリノリウムを引くことも考えなければならないと思っている。技術的にも問題ないようにしたいと考えている。</p>
<p>【市民3】 小ホールの電気音響のシミュレーションについてだが、大ホールは全体的にオレンジや赤くなっており、問題ないと分かるが、小ホールはグレーや青が多いように感じる。大ホールと小ホールは何が違うのか。仮に室内楽をやろうと思ったときに、大ホールと小ホールでやるのでは差が出てくるのか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 音響シミュレーション結果の色は音圧の違いを表している。大ホールは空間そのものが大きく、空間ボリュームと考えると小ホールとの差は大きい。色の違いがあるのはそれぞれの空間に対しての音圧レベルの基準にも差があるという事である。このシミュレーション結果からは小ホールは小さい空間としては良く音が出ているという事が分かる。空間ボリュームに対してどのくらいの音圧が良いのかは違ってくるため、空間が違うことによって音圧が違うのは自然なことであり、電気音響であれば、マイク等で音圧をあげることは可能だが、不自然に音圧を上げてしまうと不自然なホール音響になってしまう。大事なのは生音をどう響かせるかということであり、音圧レベルをさらに均一にするように今後も検討を重ねたい。</p>

<p>【市民3】 大ホールの反射板を前に出した場合の方が、小ホールよりも良い音響になるのか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 難しい問題だが、ピアノリサイタル等だと、小ホールの300席で収まらない場合もあり、大ホールで演奏していただくことになるのではないかと。曲にもよるが、こじんまりと演奏したいという事であれば、小ホールで演奏していただき、ホールによる音の違いを楽しんでもらいたい。演奏家のレベルが高ければ高いほど、ホールの音に合わせて演奏にも違いが出てくると思うので、そういったところも楽しんでいただければと思う。</p>
<p>【市民3】 小ホールは市民ユースという事だが、プロレベルまでもっていくという事か。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 市民ユースは使い方の工夫や楽しみ方が大事であると考えている。小規模のコンサート等のスケールで小ホールで演奏したいという事であれば、最高レベルの演者にも満足いただけるような小ホールにしたいと考えている。市民ユースだから性能が低いという事ではないと考えている。</p>
<p>【市民4】 大ホールの2・3階のホワイエからお城が見えるというご説明だったが、良い景色ならば、お茶やケーキなどを食べながらゆっくりしたい。そういった場所はあるのか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 大ホールの2階のホワイエからお城側の部分はカフェスペースとして考えている。この部分はどなたでも使うことができる。このスペースの奥側にホワイエがあるということを考えており、仕切りについては、運用方法も含めて考えたい。</p>
<p>【市民5】 小ホールの舞台で太鼓などの大音量の演目があった場合、大ホールまで響いてしまうのではないかと。ギャラリーについては、準備室横の廊下Bは幅が狭いのではないかと。展示の搬入は出来るのか。屋根材について、ガルバリウム鋼板だが、塩害地域なので、チタン亜鉛合金にすべきではないか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 大小ホールの遮音について、大小ホールの配置は、大小ホールの連携した利用を考えて近くに配置している。別々で利用される時は、扉等で遮音区画を設定しており影響が無いようにしている。連携利用と遮音について両立させたいと考えている。太鼓については、小田原だけでなく、全国の様々なホールで課題となっている。完全に遮断させるなら、独立棟にして計画しなければならない。太鼓の遮音問題については</p>

	<p>別格であり、全国どこのホールでも同じであるが、大小ホール同時に借りていただくことなどを検討して頂きたい。</p> <p>ギャラリーについて、現在、少し廊下Bを広げる検討をしている。しかし、大型の展示物の搬入については、表側が可動間仕切りとなっており、オープンにすることが出来るので、そちらから入れる計画となっている。</p> <p>屋根材について、フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板を考えており、ガルバリウムといっても様々な種類があり、また、アルミニウムなどについてもランニングコストを比較検討して決定したい。</p>
--	--